

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	橋りょう長寿命化対策事業			事業番号	35-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	土木部	辻 雅弘	道路整備課	高梨 和美	

計 画 (P l a n)						
総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち		
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり		
		施策展開の方向	16	便利で機能的なまちをつくる		
		施策	35	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進		
予算事業名	橋りょう維持管理費					
事務区分〔選択〕	☒ 自治事務	☐ 法定受託事務	(選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前		～	終了年度	－
関連法令等	道路法、道路法施行令、道路法施行規則					
国・県の計画等	社会資本総合整備計画:既存施設の長寿命化等の推進(防災・安全)				計画期間	平成29年度～令和3年度
関連個別計画	伊勢原市橋りょう長寿命化修繕計画、地域防災計画				計画期間	平成25年3月～継続
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	市が管理する橋りょうは、今後、建設から50年を経過する高齢橋の割合が急速に増加し、老朽化による架け替え費用が増大することから、従来の「事後保全」から「予防保全」へ管理方法の転換を行います。平成25年3月及び令和2年3月に策定した「伊勢原市橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、予防的修繕等の実施を徹底することにより、修繕・架け替えに係る費用を、効率的な管理を行いコストの削減を図ります。					
目 的 (何をどうしたいのか)	伊勢原市橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの修繕及び耐震化などを計画的に実施し、長寿命化を図ります。					
主な対象 (誰・何を対象に)	予防保全的な修繕を進め、安全で円滑な交通環境へ対応することで、快適で暮らしやすいまちを目指します。震災時に、緊急輸送路などを確保し、市民の安全・安心を推進します。					
事業内容 (手段、手法など)	・「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、緊急輸送路等に位置づけされている橋りょうや、損傷等の状況により対策を優先すべき橋りょうに対し、修繕・耐震化を計画的に実施します。					
事業行程	項目		年度			
			令和3年度		令和4年度	
	調査設計		2橋		－	
	修繕工事		1橋		2橋	
	定期点検		－		175橋	
目 標	【指標名】		年度			
	【現状値】		令和3年度		令和4年度	
	橋りょうの修繕及び耐震化済みの橋りょう数		14橋 (令和2年度)		15橋 17橋	



事業実施 (Do)

事業実施 (D o)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)		国の補助金を活用して、修繕・耐震詳細設計を2橋、修繕・耐震工事を1橋予定しています。								
実施方法 〔選択・記入〕		☒ すべて直接実施 ☐ 左記以外								
		☐ 業務委託		☐ 指定管理		委託先又は指定管理者				
		☐ 補助金		補助先						
		☐ その他		具体内容						
実施結果		項目			年度					
					令和3年度		令和4年度			
		調査設計			調査設計実施					
		修繕工事			修繕工事実施					
		定期点検			—					
実施した取組の内容		調査設計については、2橋(市道1号線:十二神橋、市道666号線:龍泉寺橋)を実施しました。 工事については、1橋(市道675号線:千代見橋)を実施しました。								
目標の達成状況		【指標名】		【現状値】		年度				
						令和3年度		令和4年度		
		橋りょうの修繕及び耐震化済みの橋りょう数		14橋 (令和2年度)		15橋				
コスト	年度		令和3年度 実績				令和4年度 実績			
	事業費合計 (a)		44,198		千円				千円	
	内訳	国県支出金 ①	22,108		千円				千円	
		地方債 ②	19,400		千円				千円	
		その他特財 ③	0		千円				千円	
		一般財源 (a)-①-②-③	2,690		千円		0		千円	
	国県支出金の内容		道路メンテナンス事業費補助(補助率:5.5/10、市4.5/10)							
	その他 特財の 内容	受益者負担	☐ 有 ☒ 無		前回の改定時期					
		その他								
	人件費	正規職員	0.37	人	3,027	千円		人		千円
		その他の職員	0	人	0	千円		人		千円
		人件費合計 (b)	0.37	人	3,027	千円		人		千円
	トータルコスト (a)+(b)		47,225		千円		0		千円	
	単位 当たり コスト	対象 数	定義	市民		単位				単位
			対象数	101,381		人				
		総事業費 ／対象数	466		円				円	

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	☐ 計画どおり (A) ☒ 概ね計画どおり (B) ☐ 計画どおり進捗せず (C)	B	左記 判断理由	橋りょうの修繕・架替えに伴う費用の縮減と平準化を図るため、伊勢原市橋りょう長寿命化修繕計画に基づく修繕・耐震詳細設計を2橋実施し、1橋の修繕工事を実施しました。
実施水準 〔選択・記入〕	☐ 他市より高い水準で実施 (A) ☐ 他市と同水準で実施 (B) ☐ 他市より低い水準で実施 (C) ☒ 一律に比較できない事業	—	他都 市の 事業 内容 等	各自治体で管理している施設数に違いがあるため、一律に比較出来ない事業です。
有効性 〔選択・記入〕	☒ 高い (A) ☐ 普通 (B) ☐ 低い (C)	A	左記 判断理由	伊勢原市橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、平成25年度から令和3年度迄に23橋の修繕・耐震詳細設計と15橋の修繕・耐震工事を実施しました。
効率性 〔選択・記入〕	☒ 効率的に実施されている (A) ☐ 改善の余地がある (B) ☐ 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記 判断理由	国の補助金を活用し、効率的に事業を実施することが出来ました。



取組内容の改善 (Action)				
所属長 による 今後の 方向性の 判断	方向性 〔選択〕	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しの上継続	事業推 進上の 課題	橋りょうは、市民生活を支える重要な都市基盤であり、適切な維持管理を継続的に実施する必要があります。一方で、多大な費用を要する橋りょうの維持管理費のコスト削減が大きな課題となっています。
令和4年度 of 取組方針		国庫補助金を活用し事業進捗を図りながら、橋りょうの詳細設計、修繕・耐震工事、橋りょう点検が滞りなく執行出来るよう、関係機関との調整を図り、取り組みを進めてまいります。		
所管部長による総評		今後は橋りょうの老朽化に伴い架替え事業費が増大することから、国の補助金を積極的に活用し、橋りょうの予防的修繕を継続的に実施することにより、コストの縮減と平準化を図る「橋りょう長寿命化対策事業」を積極的に推進して取り組む必要があります。		